平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名　株式会社 ヤマノホールディングス　　上場取引所　大
コード番号　7571　URL　http://www.yamano-hd.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者　(氏名) 山野　義友
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長　(氏名) 金木　俊明　TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日　平成24年8月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,303	△0.6	9	―	4	―	77	―
24年3月期第1四半期	5,335	△11.6	△60	―	△76	―	△115	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　66百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△114百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.14	―
24年3月期第1四半期	△3.64	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	11,350	2,336	6.4	11.00
24年3月期	11,679	2,290	5.6	8.96

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　725百万円　24年3月期　651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,200	△0.2	58	2.0	42	23.7	28	―	0.59
通期	23,900	△0.5	540	11.0	500	19.1	370	84.2	10.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	34,497,058 株	24年3月期	34,497,058 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	15,966 株	24年3月期	15,966 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	34,481,092 株	24年3月期1Q	32,695,048 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、1株当たり当期純利益の算定方法につきましては、当期純利益の予想値から普通株主に帰属しない金額(優先配当額)を控除して算出しております。

・当社は、決算補足説明資料及び動画による決算説明を、この決算短信公表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たりの配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

Ａ種優先株式

	１株当たり配当金					配当金総額（合計）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
23年３月期	―	―	―	0 00	0 00	―
24年３月期	―	―	―	0 00	0 00	―
25年３月期（予想）	―	―	―	5,000,000 00	5,000,000 00	

（注）Ａ種優先株式の発行数は１株であります。また、平成24年３月期期末配当金は、当社定款に規程される分配可能額(5,000千円)に達しなかったため配当は行いませんが、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額10,041千円は累積され、当期の配当額5,000千円と合わせて優先株主に対して配当を行う予定であります。

Ｂ種優先株式

	１株当たり配当金					配当金総額（合計）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
23年３月期	―	―	―	0 00	0 00	―
24年３月期	―	―	―	0 00	0 00	―
25年３月期（予想）	―	―	―	10,556,564 20	10,556,564 20	

（注）Ｂ種優先株式の発行数は１株であります。また、平成24年３月期期末配当金は、当社定款に規程される分配可能額(10,556千円)に達しなかったため配当は行いませんが、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額21,199千円は累積され、当期の配当額10,556千円と合わせて優先株主に対して配当を行う予定であります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書 ……8
四半期連結包括利益計算書 ……9
（３）継続企業の前提に関する注記 ……10
（４）セグメント情報等 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要や政策支援などにより景気は緩やかな回復基調となったものの、欧州債務危機や円高などを要因に先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界におきましては、一部高額品の消費に回復傾向が見られたものの、先行き不透明感から個人消費の回復力は弱く、経営環境は厳しい状況が続いております。

そのような状況のもと、「第二創業」の３年目となる当期におきましては、従来の「ソフトと価値の提供」をテーマとした商品以外のサービス・満足の提供を目指した施策に加え、人財育成と採用を強化し、今後の出店・拡大に向けた体制の確立に努めてまいりました。

また、平成24年４月１日付で当社の和装事業を堀田丸正グループのＨＭリテーリングス株式会社に事業譲渡し、和装関連事業におけるシナジーの最大化に努めております。

店舗展開としては、美容事業において４月に１店舗、５月に２店舗のリニューアルを実施、スポーツ事業において４月に２店舗の移転リニューアルを実施、卸売事業において５月に１店舗の新規出店を実施しております。

人財育成策としては、各事業において知識習得やサービス向上を目的とした各種研修を実施しております。また、美容事業、スポーツ事業、和装事業で新卒採用を実施している他、卸売事業においても新卒採用をスタートいたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は53億３百万円（前年同四半期比0.6％減）となりましたが、営業利益は９百万円（前年同四半期は営業損失60百万円）、経常利益は４百万円（前年同四半期は経常損失76百万円）となり、法人税等還付税額等を計上したことにより四半期純利益は77百万円（前年同四半期は四半期純損失１億15百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

1)「美容事業」

美容事業につきましては、他社との差別化戦略として、ターゲットを明確化した店舗設計である「ファミリーサロン」「アンチエイジングサロン」への店舗改修を実施、オーガニックヘッドスパ「山野式ヘッドスパ」の導入をすすめております。

当第１四半期連結累計期間においては、人財育成強化策として技術マニュアルを整備し、新教育スケジュールの運用をスタートいたしました。また、「ファミリーサロン」へのリニューアルを１店舗、「アンチエイジングサロン」へのリニューアルを２店舗実施、「山野式ヘッドスパ」を全119店舗中42店舗に導入し、導入店のヘッドスパ技術者を増強しております。

この結果、美容事業の売上高は７億46百万円（前期比0.3％減）となり、セグメント利益63百万円（前期比2.0％増）となりました。

2)「スポーツ事業」

スポーツ事業につきましては、「ソフトと価値の提供」として①専門店ならではの提案力強化、②体験サービスイベントの開催、③メンテナンスサービスの商品化、④ＷＥＢ通販の拡大を行っております。

当第１四半期連結累計期間においては、移転リニューアルを２店舗実施いたしました。また、ＷＥＢ通販の取扱カテゴリを拡げ掲載アイテム数を増加し、ＷＥＢ通販の売上高は前年同四半期比で105％となっております。

人財育成強化策としては、ダイビング研修や登山研修、商品研修などを実施し、提案力の向上に努めております。

前年同四半期において防災関連の特需があった反動により、スポーツ事業の売上高は７億76百万円（前年同四半期比1.3％減）となり、人員増による費用増などにより、セグメント損失50百万円（前年同四半期はセグメント損失30百万円）となりました。

3) 「ＤＳＭ事業」

ＤＳＭ事業につきましては、ミシン点検サービスや布団の丸洗いクリーニングなどのサービス機能を拡充し、催事集客強化による販売施策を行っております。

当第１四半期連結累計期間においては、通常の大型催事を開催するほか、大型ショッピングセンター等の撤退により買い物の場が減少してしまった消費者をターゲットに、地方の各ショップにて洋装品を中心にしたトータルファッションのミニ展示会を実施しております。

また、事業所の統廃合を要因とした販売員減少に対応するため、販売員増員プロジェクトを立ち上げ、紹介キャンペーンなどを実施しております。

この結果、ＤＳＭ事業の売上高は８億50百万円（前年同四半期比4.6%減）となり、セグメント利益18百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

4) 「和装事業」

和装事業につきましては、①店頭における着方教室「前楽結び着方教室」、②きものパーティなど「着る機会の提供」、③お手入れサービス「きものクリニック」の３施策を柱として、顧客の活性化、定着化に努めております。

当第１四半期連結累計期間においては、店頭販売の活性化と効率化を図るべく、店頭催事の内容を統一した催事を引続き実施しております。また、消費者向けのサイトを新しくオープンいたしました。

この結果、和装事業の売上高は７億24百万円（前年同四半期比21.7%増）となり、セグメント利益19百万円（前年同四半期はセグメント損失43百万円）となりました。

5) 「卸売事業」

卸売事業につきましては、和装部門の売場コーナー化の推進、アパレル部門の拡大に向けた施策を実施しております。

当第１四半期連結累計期間においては、堀田丸正アパレル部門の直営店を１店舗出店し、「卸から顧客創造」戦略をすすめております。

前期において量販店取引等を見直したことにより、卸売事業の売上高は17億74百万円（前年同四半期比3.6%減）となり、セグメント損失12百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

6) 「宝飾事業」

宝飾事業につきましては、店外大型催事への参加や店頭催事の絞込みなど事業効率の向上に努めてまいりました。

当第１四半期連結累計期間においては、店外大型催事の参加店増などにより売上高の確保に努めてまいりました。

この結果、宝飾事業の売上高は２億44百万円（前年同四半期比0.1%増）となり、セグメント損失は５百万円（前年同四半期はセグメント損失24百万円）となりました。

7) 「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠撚糸の販売、かねもり事業部の代理店を通じた呉服等を中心とした催事販売、RC卸事業部の健康器具卸売、株式会社アールエフシー及び株式会社ヤマノ1909セイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は１億87百万円（前年同四半期比18.0%減）となり、セグメント損失６百万円（前年同四半期はセグメント損失２百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて３億28百万円減少し113億50百万円となりました。

その主な要因は、流動資産では、現金及び預金が２億67百万円及び受取手形及び売掛金が３億５百万円減少し、商品及び製品が２億24百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて３億75百万円減少し90億13百万円となりました。

その主な要因は、有利子負債１億31百万円、支払手形及び買掛金１億20百万円及び未払金99百万円の減少によるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し23億36百万円となりました。

その主な要因は、利益剰余金が77百万円増加し、少数株主持分が27百万円減少したためであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、前回（平成24年８月１日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しております。）の内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,279,607	2,012,108
受取手形及び売掛金	2,819,446	2,513,631
商品及び製品	2,783,804	3,008,417
仕掛品	25,312	18,711
原材料及び貯蔵品	67,713	64,200
その他	285,565	321,209
貸倒引当金	△75,644	△67,236
流動資産合計	8,185,805	7,871,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,862,708	1,779,422
減価償却累計額	△1,201,475	△1,128,611
建物及び構築物（純額）	661,233	650,810
機械装置及び運搬具	33,086	33,086
減価償却累計額	△32,030	△32,101
機械装置及び運搬具（純額）	1,056	985
工具、器具及び備品	644,170	623,997
減価償却累計額	△596,156	△575,928
工具、器具及び備品（純額）	48,014	48,069
土地	862,234	862,234
リース資産	23,195	23,195
減価償却累計額	△6,187	△7,344
リース資産（純額）	17,008	15,851
有形固定資産合計	1,589,547	1,577,951
無形固定資産		
その他	66,777	59,150
無形固定資産合計	66,777	59,150
投資その他の資産		
投資有価証券	119,310	115,527
長期貸付金	57,696	54,112
敷金及び保証金	1,535,241	1,532,697
その他	842,671	726,515
貸倒引当金	△717,982	△586,766
投資その他の資産合計	1,836,937	1,842,086
固定資産合計	3,493,262	3,479,188
資産合計	11,679,067	11,350,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,687,538	3,566,727
短期借入金	2,107,702	2,056,610
1年内返済予定の長期借入金	98,724	85,524
1年内償還予定の社債	111,250	100,000
未払金	845,096	745,208
前受金	1,026,979	1,013,623
未払法人税等	66,835	56,315
賞与引当金	30,300	28,038
返品調整引当金	20,714	16,550
ポイント引当金	68,180	63,130
株主優待引当金	1,446	1,446
その他	698,695	731,533
流動負債合計	8,763,462	8,464,708
固定負債		
長期借入金	84,004	28,000
長期未払金	296,025	285,962
繰延税金負債	2,710	1,815
資産除去債務	175,534	174,229
負ののれん	14,479	12,504
その他	52,484	46,407
固定負債合計	625,237	548,920
負債合計	9,388,699	9,013,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,602,921	1,602,921
資本剰余金	2,027,372	2,027,372
利益剰余金	△2,915,108	△2,837,301
自己株式	△3,019	△3,019
株主資本合計	712,167	789,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△718	△2,009
為替換算調整勘定	△60,085	△62,584
その他の包括利益累計額合計	△60,804	△64,594
少数株主持分	1,639,004	1,611,223
純資産合計	2,290,367	2,336,602
負債純資産合計	11,679,067	11,350,231

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	5,335,971	5,303,883
売上原価	3,163,346	3,116,607
売上総利益	2,172,624	2,187,276
販売費及び一般管理費	2,232,745	2,178,101
営業利益又は営業損失（△）	△60,121	9,175
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,632	1,563
受取地代家賃	4,487	4,525
協賛金収入	3,532	1,531
負ののれん償却額	3,455	2,007
その他	15,184	16,775
営業外収益合計	28,292	26,404
営業外費用		
支払利息	32,268	22,162
手形売却損	401	425
その他	12,067	8,647
営業外費用合計	44,736	31,234
経常利益又は経常損失（△）	△76,565	4,345
特別利益		
固定資産売却益	196	135
資産除去債務履行差額	－	1,154
その他	1	6
特別利益合計	198	1,295
特別損失		
固定資産除却損	4,482	2,982
災害による損失	4,395	－
投資有価証券評価損	－	788
店舗閉鎖損失	2,596	562
アドバイザリー手数料	－	23,057
その他	9,296	380
特別損失合計	20,771	27,771
税金等調整前四半期純損失（△）	△97,138	△22,130
法人税、住民税及び事業税	18,237	20,915
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	－	△113,738
法人税等合計	18,237	△92,822
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△115,376	70,692
少数株主損失（△）	△128	△7,114
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△115,247	77,806

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△115,376	70,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,391	△2,573
為替換算調整勘定	△625	△1,484
その他の包括利益合計	766	△4,058
四半期包括利益	△114,609	66,633
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115,428	73,312
少数株主に係る四半期包括利益	819	△6,679

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	748,510	787,010	891,686	595,065	1,841,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	31,821
計	748,510	787,010	891,686	595,065	1,873,245
セグメント利益又は損失(△)	61,749	△30,748	20,794	△43,744	△12,954

	報告セグメント		その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	宝飾	計				
売上高						
外部顧客への売上高	243,942	5,107,639	228,331	5,335,971	―	5,335,971
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	31,821	4,848	36,670	△36,670	―
計	243,942	5,139,461	233,180	5,372,641	△36,670	5,335,971
セグメント利益又は損失(△)	△24,357	△29,260	△2,434	△31,695	△28,425	△60,121

（注）１ その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおります。

２ セグメント利益の調整額△28,425千円には、セグメント間取引消去857千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△33,476千円及び棚卸資産の調整額4,193千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３ セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	746,396	776,523	850,827	724,122	1,774,639
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	26,773
計	746,396	776,523	850,827	724,122	1,801,413
セグメント利益又は損失(△)	63,013	△50,917	18,868	19,359	△12,071

	報告セグメント		その他(注１)	合計	調整額(注２)	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	宝飾	計				
売上高						
外部顧客への売上高	244,243	5,116,752	187,130	5,303,883	―	5,303,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	26,773	6,643	33,417	△33,417	―
計	244,243	5,143,526	193,773	5,337,300	△33,417	5,303,883
セグメント利益又は損失(△)	△5,893	32,358	△6,596	25,762	△16,587	9,175

(注) １　その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△16,587千円には、セグメント間取引消去142千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△16,097千円及び棚卸資産の調整額△632千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。